

仕様書

IoT 推進部

1. 件名

「IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」に係るOSSの管理手法及びCSIRT・PSIRT連携等に関する調査

2. 目的

「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期/IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」(以下「本プロジェクト」という。)においては、セキュアな Society5.0 の実現に向け、様々な IoT 機器を守り、社会全体の安全・安心を確立するため、IoT システム・サービス及び中小企業を含む大規模サプライチェーン全体を守ることに活用できる『サイバー・フィジカル・セキュリティ対策基盤』の開発と実証に取り組んでいる。

近年、企業においても Open Source Software (以下「OSS」という。)の活用が進む中、安全な OSS の選定や脆弱性の管理など、OSS の利活用に起因するサプライチェーンセキュリティリスク対策の必要性が顕在化してきている。本調査では、組み込み機器やソフトウェア・サービスでの OSS の管理手法に関する最新動向及び、インシデント発生時に CSIRT と PSIRT が迅速に連携し機能するための枠組みや技術情報について、その課題・方法を分析・提言することを目的とする。

3. 内容

以下の各業務の実施においては、本プロジェクトの研究開発計画概要について情報収集した上で、適時本プロジェクトのプログラムディレクター/サブプログラムディレクターと NEDO に相談の上行うこと。また、2020 年度調査「IoT 社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」に係るサプライチェーンにおける OSS の活用状況調査」を踏まえて各業務を行うこと。

(1) OSS の管理手法及び OSS に関わる CSIRT・PSIRT 連携案の調査

- ① 組み込み機器やソフトウェア・サービスでの OSS の管理手法について、②③の調査の実施にあたり必要な最新の状況について調査・分析する。例として以下のような調査・分析が考えられる。
 - ・事業者が組み込み機器やソフトウェア・サービスに OSS を使用する際、その管理(安全な OSS 選定・評価、脆弱性管理、サポート等)をどのようにして行っているか調査・分析する。
 - ・事業者が組み込み機器やソフトウェア・サービスに OSS を使用する際、そのセキュリティをどのようにして担保しているか調査・分析する。
- ② IoT 機器など製品を導入している企業の CSIRT で対応したインシデントを、その製品を製造販売している PSIRT と企業間の枠組みを超えてどのように効率よく連携すべきか、その課題を明らかにし、その連携方法や品質情報の管理方法等を具体的に提言する。
- ③ 上記について有識者の意見や事例を集めて整理する。

(2) その他

本プロジェクトのプログラムディレクター／サブプログラムディレクターと NEDO からの要請があった場合は、協議の上、可能な限り反映すること。また、当該調査の実施により知り得た知見・個人情報、当該調査のためだけに利用することとし、調査終了後は速やかに情報を破棄すること。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2022 年 12 月 23 日（金）まで

5. 報告書

提出期限：調査報告書 2022 年 12 月 23 日（金）

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上